

国際わいわいクラブ 埼玉支部 報告

日時 令和元年7月28日（日）13時00分～16時40分
場所 大宮カントリークラブ
講師 高野プロ
協力 大宮CCスタッフ・ボランティアスタッフの方々
参加人数 11名
スタッフ7名 （西山、須賀、鴻谷、三浦、小塩、東大生4名）



タイムスケジュール

- 13:00 大宮CC施設 清心館3Fにて開会式を行いました。開会式では当財団の歴史（昭和63年に設立）や活動目的などの説明があり、今年度のテーマでもある「挑戦、体験、参加」についてのお話がありました。（写真1）
- 13:10 今回のわいわいクラブは、まず東大生による講義が行われ、世界の子供たちがどのように勉強や活動体験をしているかをテーマに、世界の学校、各地のお祭り、世界三大宗教、小学校はいつからあるのか等の講義をしてもらいました。まず世界の学校では、学び方についての内容が日本の学校では、質問に対しての答えを生徒が考えるのに対して、世界各国では答えでなく導き方、考え方（数式等）を発表させるスタイルでの授業であること、また算数の99も9の段まででなく、20×20までの段を覚えるようにしているとの講義がありました。次の各地のお祭りでは、平安時代初期、征夷大將軍・坂上田村麻呂が蝦夷征伐の折、敵をおびき出すために大きな人形を作ったとされる、『青森のねぶたまつり』の由来や、スペインのトマティーナ祭りやリオのカーニバルのお祭りについて講義しました。世界三大宗教の講義では、世界で初めて歯磨きをしたブッタや食べ物の制限、洋服の制限等いろいろな決まりが違う事を学びました。また最後の小学校の講義では、平安時代は大学寮として貴族階級の子供達しか学べなかった事、江戸時代に入ると寺子屋、藩校ができ、藩校では初等教育から始まり、武芸・儒学・兵学・漢学などを学べる事を勉強し、寺子屋では読み書きそろばんを教えていた事をイラストなど通じての講義を受けました。授業の最後に「現在世界では、日本の人口の倍以上の子供たちが学校へ通っておりません。世界の子供たちが、学校に通えるよう『世界階教育』をわいわいクラブの子供たちが意識して、先生たちの話を聞いて勉強するように」との話があり、東大生の講義が終了しました。（写真2）講義の後には、参加者全員がスナッグゴルフで準備運動を行いました。（写真3）
- 14:00 調理実習では夏にちなみ、素麺作りを体験しました。暑い日でもあったので、みんないっぱい素麺作りを楽しんでいました。また食事をしながら第一部に行った東大生の講義に、子供達から数多くの質問が東大生スタッフにありました。（写真4）

15:00

大宮 CC 紅コースにて、ゴルフ体験スタート。梅雨も明けそうで気温が高くなりました。水分補給を十分にしながら、プロのコーチの教えを一生懸命練習していました。ボランティアの方々やスタッフお付添いいただき、事故なく安全にプレーをすることが出来ました。

(写真 5) (写真 6)

16:40

全プログラム終了 閉会式



(写真 1)



(写真 2)



(写真 3)



(写真 4)



(写真 5)



(写真 6)

初回登録 1,000円 (登録者は無料)

当日参加費 1,000円 (コースプレー代を含む)

ジュニアの為に、1回の講義とコースでのプレーで1,000円というお値段は、ボランティアスタッフの皆様や協力団体の皆様のご協力の元実現したお値段でございます。今後、プログラムへの参加希望やご協賛等のお問い合わせは国際青少年育成振興財団事務局までご連絡ください。

お問い合わせは

一般財団法人 国際青少年育成振興財団

国際わいわいクラブ事務局

電話 03-6438-9783 担当 鴻谷・西山